



WE MEET LEOS CARAX!

3.19 SAT - 31 FRI

ユーロスペース 渋谷・文化村前交差点左折 ☎03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

一般1500円 / 大学・専門学校生1300円
会員・シニア1100円 高校生800円 / 中学生以下500円
※本特集の半券提示で、2回目以降1100円

上映スケジュールはユーロスペースのクエアライトをご覧ください

WE MEET LEOS CARAX!

レオス・カラックス 1960年、パリ近郊にアレックス・デュボンとして生まれる。13歳でアレックスとオスカーのアナグラムであるレオス・カラックスに自ら改名。10代前半から映画を観あさり、イギー・ポップに憧れ、セリーヌを愛読する早熟な子どもだった。16歳でバカロレアに合格、リセを辞めパリにでる。17歳で未完の短編『夢に見た娘』を撮り、18歳でカイエ・デュ・シネマに寄稿。80年に初めて完成させた『殺殺のブルース』がイェール映画祭でグランプリ受賞。そのフィルモグラフィは長編6本、オムニバス映画1本と寡作ながら、一作ごとに新たな世界を生み出してきた唯一無二の映画作家。



Mauvais Sang 『汚れた血』

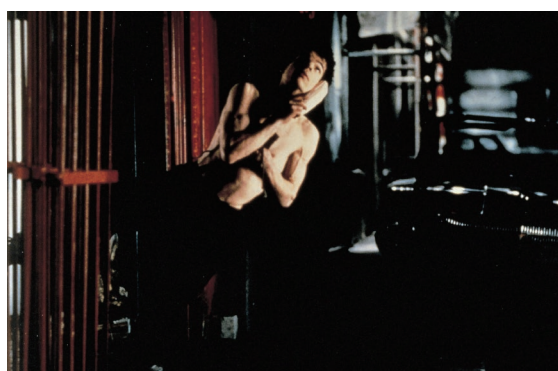
1986年/フランス/119分/カラー/35mm/ヴィスタ
監督・脚本:レオス・カラックス/撮影:ジャン=イヴ・エスコフィエ
出演:ジュリエット・ピノシュ、ドニ・ラヴァン、ミシェル・ピコリ
配給:ユーロスペース

ドニ・ラヴァンが再び主人公“アレックス”を演じ、永遠に結ばれることのない男女の三角関係をスピーディーかつリカルに描く。愛のないセックスで感染する病気が蔓延するパリ。新しい人生を望むアレックスは、亡き父の友人マルクから犯罪に誘われるが、やがてマルクの愛人アンナに魅かれてゆく…。デヴィッド・ボウイの「モダン・ラブ」が流れる中を駆け抜ける長廻し撮影、ラストのアンナの疾走などは映画史に残る名シーンと名高い。

Boy Meets Girl 『ボーイ・ミーツ・ガール』

1984年/フランス/104分/モノクロ/35mm/ヴィスタ
監督・脚本:レオス・カラックス/撮影:ジャン=イヴ・エスコフィエ
出演:ミレーユ・ペリエ、ドニ・ラヴァン、エリー・ボワカール
配給:ユーロスペース

84年のカンヌ映画祭で上映され“恐るべき子ども”と一躍脚光を浴びた、カラックス22歳の長編処女作。5月のパリの夜、失恋したばかりの少年アレックスが美しい少女ミレーユと出会い、やがて悲劇的な結末を迎えるまでを、ベルベットのように艶やかなモノクローム映像で綴る。夜闇にうかぶ街の光が宝石のように刻まれた画面は、フィルム・ノワールやヌーベルヴァークの雰囲気漂わせながら、まぎれもなく80年代の精神の声を伝えている。



Tokyo!

2008年/フランス・日本・韓国/カラー/110分/35mm/ヴィスタ
監督:ミシェル・ゴンドリー、レオス・カラックス、ポン・ジュノ
配給:ピタース・エンド

感性豊かな米・仏・韓の鬼才監督3人が、独自の視点で東京を読みといたオムニバス映画『TOKYO!』。カラックスは「ミゾグチとゴジラの街で撮ってみたいか」との誘いに、その一篇<メルド>を担当。地下道に潜み、驚異的なスピードで東京の街中を闊歩する怪人メルドを生み出し、不条理で奇想天外な物語を展開した。本作で初めてタグを組んだ撮影監督キャロリーヌ・シャンプティエは、その後カラックス監督作品に欠かせない存在となった。

Pola X 『ポーラX』

1999年/フランス・ドイツ・日本・スイス/カラー/134分/35mm/ヴィスタ
監督・脚本:レオス・カラックス/撮影:エリック・ゴートイエ
出演:ギューム・ドバルデュ、カテリーナ・ゴルベワ、カトリーヌ・ドヌーヴ
配給:ユーロスペース

ハーマン・メルヴィルの小説「ピエール」を映画化。虚飾の人生の中で真実を渴望する小説家ピエールと、謎の女イザベル。ピエールは姉かもしれぬイザベルとの愛を求め、美しい母と婚約者との満ち足りた生活を捨て、魂の暗闇へと堕ちてゆく。闇の中の官能的なベッドシーン、“血の河”に溺れる夢など、今まで以上に強烈な闇のイメージによって破滅へ向かう男の魂を描き、カラックスが新境地を開いた作品。



Holy Motors 『ホーリー・モーターズ』

2012年/フランス/カラー/115分/DCP/ヴィスタ
監督・脚本:レオス・カラックス/撮影:キャロリーヌ・シャンプティエ
出演:ドニ・ラヴァン、エディット・スコブ、エヴァ・メンデス、カイリー・ミノグ、ミシェル・ピコリ 配給:ユーロスペース

銀行家、殺人者、物乞いの女、父親…。いくつもの“人生のアバター”を演じながら、白いリムジンでパリの街中を駆けぬけるオスカーの1日。なぜ彼は、誰かの人生を演じ続けるのか? ドニ・ラヴァンの躍動する身体とシャンプティエの撮影によって、カラックスは自身の夢のヴィジョンからミステリアスな物語を生み出した。スパークスの楽曲や、カイリー・ミノグが生で歌うミュージカルシーンなど、最新作『アネット』誕生の端緒を見ることが出来る。

#WE MEET LEOS CARAX!



アニエスb
3月19日(土)~4月1日(金)
アニエスベー オリジナルの『アネット』コラボTシャツとトート・バッグを販売!また渋谷店の agnès b. caféにて、レオス・カラックス作品のヴィンテージポスターを展示。
https://www.agnesb.co.jp



タワーレコード
タワーレコードオンラインでは、試写会やTシャツなどのプレゼントキャンペーンを実施!渋谷店、新宿店では購入者特典としてオリジナルポストカードプレゼントの店頭キャンペーンも予定!
https://tower.jp



六本木 蔦屋書店
3月23日(水)~4月13日(水) ※一部3月25日(金)より
公開記念フェアとして関連グッズや書籍の販売やポスター展を実施するほか、配信トークショーを開催。
https://store.tsite.jp/roppongi/

代官山 蔦屋書店
3月19日(土)~4月10日(日)
We meet Leos Carax! in Daikanyamaと題し、代官山店限定Tシャツや関連グッズや書籍の販売、ポスター展示を予定。
https://store.tsite.jp/daikanyama/

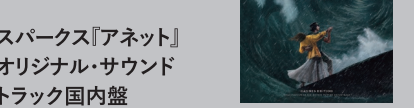
銀座 蔦屋書店
3月下旬
公開記念配信トークショー開催!その他、関連グッズや書籍の販売を予定。
https://store.tsite.jp/ginza/event
※蔦屋書店上記3店舗で限定ポストカードのプレゼントを予定(限定数)



Cafe FLAMINGO
3月下旬~
『アネット』劇中で外観が使われたCafe FLAMINGOで、映画の半券を提示すると飲食代金が割引になるほかコラボメニューも登場予定。
[営業時間]日曜~木曜日:11:30~翌2:00
金曜・土曜・祝前日:11:30~翌5:00
※まん延防止等重点措置など感染症対策の要請に準ずる。
東京都渋谷区宇田川町10-2 ☎03-6416-5513
https://www.udagawacafe.com/cafe-flamingo/



DOMMUNE
第一夜3月30日(水)19:00~
第二夜4月6日(水)19:00~
渋谷PARCOのスタジオから、感度の高いプログラムを発信し続けるDOMMUNEで2夜の『アネット』公開記念配信敢行!豪華ゲストが登場予定! ゲストなど詳細は後日発表します。
https://www.dommune.com



スパークス『アネット』オリジナル・サウンドトラック国内盤
レオス・カラックス監督×スパークス 夢の共演! 『アネット』の原案と音楽を担当したスパークスによるオリジナル・サウンドトラック。(15曲収録選曲盤)
[発売日]3月23日 [価格]2,640円(税込)
[レーベル]Sony Music Japan International(SMJ)



『ボーイ・ミーツ・ガール』、『汚れた血』、『ホーリー・モーターズ』オリジナルTシャツを発売!
レオス・カラックス監督作品特集上映の期間中、ユーロスペース他、一部店舗や劇場にて限定Tシャツ販売予定です!



『アネット』海外版B1ポスター ムビチケ限定発売
海外版B1ポスターがムビチケに!限定数発売!
[価格]3,370円(税込)/送料880円(沖縄・離島除く)
[発売期間]3月31日(木)まで ※予定枚数がなくなり次第終了
[販売サイト]https://goods.mvtx.jp/items/59059250

書籍「レオス・カラックス 映画を彷徨うひと」
3月末発行予定/予価3,520円(税込)/フィルムアート社
レオス・カラックスの全作品とその人生を解き明かす単行本。レオス本人や映画スタッフ、俳優らのバリ現地撮りおろしインタビューのほか運賃重彦、濱口竜介、青山真治ら多数の執筆陣によるレオス・カラックス監督本!

書籍「インディペンデントの光芒 ユーロスペースから世界へ」(仮題)
3月末発行予定/予価2,090円(税込)/筑摩書房
レオス・カラックス監督のプロデューサー、堀越謙三語り下ろしの単行本。